

※展覧会名等は変更することがございます。

次回展予告



伊藤若冲 糸瓜群虫図(部分)

生誕300年記念

伊藤若冲

—京に生きた画家—

平成28年 6月25日(土)～9月4日(日)

奇想の画家として知られる伊藤若冲は、正徳6年(1716)に京都・錦小路高倉にあった青物問屋「枳屋」の長男として生まれました。数え年23歳の時、父の死去に伴い家督を相続し四代目を継ぎますが、40歳を機に弟に家督を譲り、絵画制作に没頭します。その個性的な画風は、さまざまな絵師がその腕を競い合っていた都市・京において大きな注目を集め、評判を呼びました。その後若冲は、天明8年(1788)に大火により被災し、一時大坂に身を寄せますが、晩年は深草の黄檗寺院・石峰寺の門前に隠棲、寛政12年(1800)に85歳で亡くなるまで絵画三昧の人生を送りました。

それまでの日本の絵画にない奇抜なモチーフ、独創的な画面構成や絵画技法を駆使して創作を行った江戸美術を代表する画家の一人として、若冲は時代や国を超えて見る人に強い印象を与え続けています。

生誕300年を機に行います本展では、若冲が生まれ、生きた京都で開催する展覧会として、細見コレクションの若冲作品のみならず、ゆかりの場所や作品の紹介、弟子らの作品も併せて展示します。

INFORMATION

入館料

一般 1200円(1100円)

学生 1000円(900円)

※()内は20名様以上の団体料金

休館日

毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)

開館時間

午前10時～午後6時
(入館は、午後5時30分まで)

会場

細見美術館

京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

tel.075-752-5555

<http://www.emuseum.or.jp>

細見美術館